

DM7 Firmware 主なアップデート内容

V1.53

V1.51 の改善点

- 電源投入時、アップデートプログラムのバージョンに加えファームウェアバージョンも 7 インチのタッチスクリーンに表示されるようにしました。
- LOG 機能を拡充しました。

V1.53 で修正された不具合

- Mixer Control および Device Control ネットワーク通信がごく稀にできなくなることもある不具合を修正しました。
- [SEL]キーを用いた一時リコールセーフの後でパッチやリコールセーフの設定を変更すると、シーンリコールしてもパラメーターが変更されなくなる不具合を修正しました。
- Dante の副回線(SECONDARY)で通信しているとき、対応している DANTE I/O DEVICE の HA をリモート操作できない不具合を修正しました。
- Bay L のパネル上のフェーダー割り当てが CUSTOM のときに[USER DEFINED KEYS]を Fader Bank として使用すると USER DEFINED KEYS ディスプレイの表示が誤っていた不具合を修正しました。
- DANTE I/O DEVICE にマウントしたワイヤレスマイクレシーバーやアンプをアンマウントすると、マウントしていた機器の設定値がデフォルト値に戻されてしまうことがある不具合を修正しました。

V1.52 で修正された不具合

- ユーティリティスクリーンがごくまれにブラックアウトする不具合を修正しました。
- フェーダーキャリブレーションを実施しても [APPLY]ボタンがグレーアウトしたまま押せない不具合を修正しました。
- トップパネル上部にある LED ライティングバーの色味が DM7/DM7 Compact と DM7 Control とで反転していた不具合を修正しました。

V1.51 で修正された不具合

- 画面下部のエンコーダーがチャンネルエンコーダーとして機能しているときに、DCA Roll-out 機能をオン/オフすると、エンコーダーにアサインされているパラメーターが意図せずノミナル値に変更されてしまう不具合を修正しました。
- ユニットモード変更時にネットワーク設定など共通のパラメーターまで初期化されてしまう不具合を修正しました。
- ワイヤレス機器に関するモニター情報がまれに誤って表示される不具合を修正しました。
- Bay L / Bay C の タッチスクリーンがごくまれにブラックアウトする不具合を修正しました。
- USER DEFINED KEYS ディスプレイの表示更新がまれに止まる問題を修正しました。
- タッチスクリーン横のボタンが操作にまれに反応しなくなる問題を修正しました。
- ファームウェアアップデートがまれに途中で止まってしまう問題を修正しました。
- ファームウェアアップデートが途中で止まると、次のファームウェアアップデート時に不正確な進捗情報が表示されたり、ファームウェアアップデートが終了しなかったりする問題を修正しました。

V1.50 の新機能

- Broadcast Package に対応しました。機能詳細は DM7 シリーズリファレンスマニュアルをご参照ください。

- Theatre Package に対応しました。機能詳細は DM7 シリーズリファレンスマニュアルをご参照ください。
- DM7 Control との接続に対応しました。機能詳細は DM7 シリーズリファレンスマニュアルをご参照ください。
- 一時リンク機能を追加しました。
- Scene List 画面 (Fade Time) に Individual モードを追加しました。
- Split モード時、シーンメモリーによるフェーダーバンクのリコールに対応しました。
- Port to Port のパッチ、Port to Port の HA ゲインのリコールセーフを追加しました。
- MONITOR SOURCE DEFINE 画面で、モニターソースごとに名前を入力できるようになりました。
- MONITOR A に Speaker Select 機能を追加しました。
- I/O DEVICE 画面にアウトプットディレイ/ゲインを追加しました。OMNI OUT、AES/EBU OUT、Dante OUT、PY OUT のポートに最大 20 までアサインできます。
- DEVICE SELECT 画面の Supported Device に DME7、Tio1608-D2 を追加しました。
- DCA GROUP ASSIGN 画面に DCA Mute Target を追加しました。
- DAW REMOTE 画面 (Steinberg モード) で、フェーダー値の表示に対応しました。
- USB ストレージデバイスのファイルシステムとして exFAT をサポートしました。

V1.50 の改善点

- EQ, DYN のタッチ操作、画面切り替えのパフォーマンスを改善しました。
- SENDS ON FADER 画面で、MIX や MATRIX がステレオの場合の表示を改善しました。
- DYN TYPE の選択肢の順序を RIVAGE PM V6 に合わせました。

既知の不具合

- SETUP メニュー内の TIME 画面において、地域・日付・時刻を変更した後に、外部接続した Dante 機器の発見、マウント、およびパラメーター同期、Dante パッチの変更が正しく行えないことがあります。本症状発生時は DM7 本体の電源再起動を行ってください。これは将来リリースのファームウェアで修正される予定です。
- リダンダント接続で DANTE I/O DEVICE が接続されていないとき "Warning:Error occurred at Secondary Port" という LOG が継続して表示され続けます。これは将来リリースのファームウェアで修正される予定です。
- Dante の副回線(SECONDARY)で通信していると、実際には主回線(PRIMARY)での通信が途切れているにも関わらず "Dante is working at 100Megabit, not 1Gigabit." の警告が誤って表示され続けます。これは将来リリースのファームウェアで修正される予定です。
- シーンリコールのための OSC コマンドが正しく機能しません。これは将来リリースのファームウェアで修正される予定です。

使用上のご注意

- MAINTENANCE 画面で Initialize All を実行すると、Dante がデイジーチェーンモードになります。リダンダント接続環境では Dante ネットワークケーブルを取り外した後に Dante の設定を再度実施してください。

バージョンアップ時のご注意

- DM7 や DM7 Compact を V1.51 からアップデートすると、ファームウェアアップデートの処理が自動的に 2 回行われます。これは内部の不整合を解決するための正常な動作です。

お知らせ

- Dante Controller でレイテンシーを設定する場合は、送信機器と受信機器で大きい(遅い)方の設定が有効になります。

V1.52

V1.51 の改善点

- 電源投入時、アップデートプログラムのバージョンに加えファームウェアバージョンも 7 インチのタッチスクリーンに表示されるようにしました。
- LOG 機能を拡充しました。

V1.52 で修正された不具合

- ユーティリティスクリーンがごくまれにブラックアウトする不具合を修正しました。
- フェーダーキャリブレーションを実施しても [APPLY] ボタンがグレーアウトしたまま押せない不具合を修正しました。
- トップパネル上部にある LED ライティングバーの色味が DM7/DM7 Compact と DM7 Control とで反転していた不具合を修正しました。

V1.51 で修正された不具合

- 画面下部のエンコーダーがチャンネルエンコーダーとして機能しているときに、DCA Roll-out 機能をオン/オフすると、エンコーダーにアサインされているパラメーターが意図せずノミナル値に変更されてしまう不具合を修正しました。
- ユニットモード変更時にネットワーク設定など共通のパラメーターまで初期化されてしまう不具合を修正しました。
- ワイヤレス機器に関するモニター情報がまれに誤って表示される不具合を修正しました。

- Bay L / Bay C の タッチスクリーンがごくまれにブラックアウトする不具合を修正しました。
- USER DEFINED KEYS ディスプレイの表示更新がまれに止まる問題を修正しました。
- タッチスクリーン横のボタンが操作にまれに反応しなくなる問題を修正しました。
- ファームウェアアップデートがまれに途中で止まってしまう問題を修正しました。
- ファームウェアアップデートが途中で止まると、次のファームウェアアップデート時に不正確な進捗情報が表示されたり、ファームウェアアップデートが終了しなかったりする問題を修正しました。

V1.50 の新機能

- Broadcast Package に対応しました。機能詳細は DM7 シリーズリファレンスマニュアルをご参照ください。
- Theatre Package に対応しました。機能詳細は DM7 シリーズリファレンスマニュアルをご参照ください。
- DM7 Control との接続に対応しました。機能詳細は DM7 シリーズリファレンスマニュアルをご参照ください。
- 一時リンク機能を追加しました。
- Scene List 画面 (Fade Time) に Individual モードを追加しました。
- Split モード時、シーンメモリーによるフェーダーバンクのリコールに対応しました。
- Port to Port のパッチ、Port to Port の HA ゲインのリコールセーフを追加しました。
- MONITOR SOURCE DEFINE 画面で、モニターソースごとに名前を入力できるようになりました。
- MONITOR A に Speaker Select 機能を追加しました。
- I/O DEVICE 画面にアウトプットディレイ/ゲインを追加しました。OMNI OUT、AES/EBU OUT、Dante OUT、PY OUT のポートに最大 20 までアサインできます。
- DEVICE SELECT 画面の Supported Device に DME7、Tio1608-D2 を追加しました。
- DCA GROUP ASSIGN 画面に DCA Mute Target を追加しました。

- DAW REMOTE 画面 (Steinberg モード) で、フェーダー値の表示に対応しました。
- USB ストレージデバイスのファイルシステムとして exFAT をサポートしました。

V1.50 の改善点

- EQ, DYN のタッチ操作、画面切り替えのパフォーマンスを改善しました。
- SENDS ON FADER 画面で、MIX や MATRIX がステレオの場合の表示を改善しました。
- DYN TYPE の選択肢の順序を RIVAGE PM V6 に合わせました。

既知の不具合

- SETUP メニュー内の TIME 画面において、地域・日付・時刻を変更した後に、外部接続した Dante 機器の発見、マウント、およびパラメーター同期、Dante パッチの変更が正しく行えないことがあります。本症状発生時は DM7 本体の電源再起動を行ってください。これは将来リリースのファームウェアで修正される予定です。
- リダンダント接続のときに主回線 (PRIMARY) のケーブルを抜くと、DANTE I/O DEVICE の HA がコントロールできなくなります。音声は副回線 (SECONDARY) により継続されます。これは将来リリースのファームウェアで修正される予定です。
- リダンダント接続で DANTE I/O DEVICE が接続されていないとき "Warning: Error occurred at Secondary Port" という LOG が継続して表示され続けます。これは将来リリースのファームウェアで修正される予定です。
- Dante の副回線 (SECONDARY) で通信していると、実際には主回線 (PRIMARY) での通信が途切れているにもかかわらず "Dante is working at 100Megabit, not 1Gigabit." の警告が誤って表示され続けます。これは将来リリースのファームウェアで修正される予定です。
- シーンリコールのための OSC コマンドが正しく機能しません。これは将来リリースのファームウェアで修正される予定です。

使用上のご注意

- MAINTENANCE 画面で Initialize All を実行すると、Dante がデジーチェーンモードになります。
リダundant接続環境では Dante ネットワークケーブルを取り外した後に Dante の設定を再度実施してください。

バージョンアップ時のご注意

- DM7 や DM7 Compact を V1.51 からアップデートすると、ファームウェアアップデートの処理が自動的に 2 回行われます。これは内部の不整合を解決するための正常な動作です。

お知らせ

- Dante Controller でレイテンシーを設定する場合は、送信機器と受信機器で大きい(遅い)方の設定が有効になります。

V1.51

V1.51 の改善点

- 電源投入時、アップデートプログラムのバージョンに加えファームウェアバージョンも 7 インチのタッチスクリーンに表示されるようにしました。
- LOG 機能を拡充しました。

V1.51 で修正された不具合

- 画面下部のエンコーダーがチャンネルエンコーダーとして機能しているときに、DCA Roll-out 機能をオン/オフすると、エンコーダーにアサインされているパラメーターが意図せずノミナル値に変更されてしまう不具合を修正しました。

- ユニットモード変更時にネットワーク設定など共通のパラメーターまで初期化されてしまう不具合を修正しました。
- ワイヤレス機器に関するモニター情報がまれに誤って表示される不具合を修正しました。
- Bay L / Bay C の タッチスクリーンがごくまれにブラックアウトする不具合を修正しました。
- USER DEFINED KEYS ディスプレイの表示更新がまれに止まる問題を修正しました。
- タッチスクリーン横のボタンが操作にまれに反応しなくなる問題を修正しました。
- ファームウェアアップデートがまれに途中で止まってしまう問題を修正しました。
- ファームウェアアップデートが途中で止まると、次のファームウェアアップデート時に不正確な進捗情報が表示されたり、ファームウェアアップデートが終了しなかったりする問題を修正しました。

V1.50 の新機能

- Broadcast Package に対応しました。機能詳細は DM7 シリーズリファレンスマニュアルをご参照ください。
- Theatre Package に対応しました。機能詳細は DM7 シリーズリファレンスマニュアルをご参照ください。
- DM7 Control との接続に対応しました。機能詳細は DM7 シリーズリファレンスマニュアルをご参照ください。
- 一時リンク機能を追加しました。
- Scene List 画面 (Fade Time) に Individual モードを追加しました。
- Split モード時、シーンメモリーによるフェーダーバンクのリコールに対応しました。
- Port to Port のパッチ、Port to Port の HA ゲインのリコールセーフを追加しました。
- MONITOR SOURCE DEFINE 画面で、モニターソースごとに名前を入力できるようになりました。
- MONITOR A に Speaker Select 機能を追加しました。

- I/O DEVICE 画面にアウトプットディレイ/ゲインを追加しました。OMNI OUT、AES/EBU OUT、Dante OUT、PY OUT のポートに最大 20 までアサインできます。
- DEVICE SELECT 画面の Supported Device に DME7、Tio1608-D2 を追加しました。
- DCA GROUP ASSIGN 画面に DCA Mute Target を追加しました。
- DAW REMOTE 画面 (Steinberg モード) で、フェーダー値の表示に対応しました。
- USB ストレージデバイスのファイルシステムとして exFAT をサポートしました。

V1.50 の改善点

- EQ, DYN のタッチ操作、画面切り替えのパフォーマンスを改善しました。
- SENDS ON FADER 画面で、MIX や MATRIX がステレオの場合の表示を改善しました。
- DYN TYPE の選択肢の順序を RIVAGE PM V6 に合わせました。

既知の不具合

- SETUP メニュー内の TIME 画面において、地域・日付・時刻を変更した後に、外部接続した Dante 機器の発見、マウント、およびパラメーター同期、Dante パッチの変更が正しく行えないことがあります。本症状発生時は DM7 本体の電源再起動を行ってください。これは将来リリースのファームウェアで修正される予定です。
- リダンダント接続のときに主回線 (PRIMARY) のケーブルを抜くと、DANTE I/O DEVICE の HA がコントロールできなくなります。音声は副回線 (SECONDARY) により継続されます。これは将来リリースのファームウェアで修正される予定です。
- リダンダント接続で DANTE I/O DEVICE が接続されていないとき "Warning: Error occurred at Secondary Port" という LOG が継続して表示され続けます。これは将来リリースのファームウェアで修正される予定です。

- トップパネル上部にある LED ライティングバーの色味が DM7/DM7 Compact と CTL-DM7 とで反転している不具合が見付かりました。これは将来リリースのファームウェアで修正される予定です。

使用上のご注意

- MAINTENANCE 画面で Initialize All を実行すると、Dante がデ이지ーチェインモードになります。リダンダント接続環境では Dante ネットワークケーブルを取り外した後に Dante の設定を再度実施してください。

お知らせ

- Dante Controller でレイテンシーを設定する場合は、送信機器と受信機器で大きい(遅い)方の設定が有効になります。

V1.50

V1.50 の新機能

- Broadcast Package に対応しました。機能詳細は DM7 シリーズリファレンスマニュアルをご参照ください。
- Theatre Package に対応しました。機能詳細は DM7 シリーズリファレンスマニュアルをご参照ください。
- DM7 Control との接続に対応しました。機能詳細は DM7 シリーズリファレンスマニュアルをご参照ください。
- 一時リンク機能を追加しました。
- Scene List 画面 (Fade Time) に Individual モードを追加しました。

- Split モード時、シーンメモリーによるフェーダーバンクのリコールに対応しました。
- Port to Port のパッチ、Port to Port の HA ゲインのリコールセーフを追加しました。
- MONITOR SOURCE DEFINE 画面で、モニターソースごとに名前を入力できるようになりました。
- MONITOR A に Speaker Select 機能を追加しました。
- I/O DEVICE 画面にアウトプットディレイ/ゲインを追加しました。OMNI OUT、AES/EBU OUT、Dante OUT、PY OUT のポートに最大 20 までアサインできます。
- DEVICE SELECT 画面の Supported Device に DME7、Tio1608-D2 を追加しました。
- DCA GROUP ASSIGN 画面に DCA Mute Target を追加しました。
- DAW REMOTE 画面 (Steinberg モード) で、フェーダー値の表示に対応しました。
- USB ストレージデバイスのファイルシステムとして exFAT をサポートしました。

V1.50 の改善点

- EQ, DYN のタッチ操作、画面切り替えのパフォーマンスを改善しました。
- SENDS ON FADER 画面で、MIX や MATRIX がステレオの場合の表示を改善しました。
- DYN TYPE の選択肢の順序を RIVAGE PM V6 に合わせました。

既知の不具合

- 画面下部のエンコーダーが Channel Encoder として機能している状態で、DCA Rollout 機能の ON/OFF を行った場合、エンコーダーにアサインされているパラメーターが意図せずにノミナル値に変更されてしまうことがあります。これは将来リリースのファームウェアで修正される予定です。
- SETUP メニュー内の TIME 画面において、地域・日付・時刻を変更した後に、外部接続した Dante 機器の発見、マウント、およびパラメーター同期、Dante パッチの変更が正しく行えないことがあります。本症状発生時は DM7 本体の電源再起動を行ってください。これは将来リリースのファームウェアで修正される予定です。

- リダント接続のときに主回線 (PRIMARY) のケーブルを抜くと、DANTE I/O DEVICE の HA がコントロールできなくなります。音声は副回線 (SECONDARY) により継続されます。これは将来リリースのファームウェアで修正される予定です。
- リダント接続で DANTE I/O DEVICE が接続されていないとき "Warning: Error occurred at Secondary Port" という LOG が継続して表示され続けます。これは将来リリースのファームウェアで修正される予定です。
- トップパネル上部にある LED ライティングバーの色味が DM7/DM7 Compact と CTL-DM7 とで反転している不具合が見つかりました。これは将来リリースのファームウェアで修正される予定です。

使用上のご注意

- MAINTENANCE 画面で Initialize All を実行すると、Dante がデイジーチェインモードになります。リダント接続環境では Dante ネットワークケーブルを取り外した後に Dante の設定を再度実施してください。

お知らせ

- Dante Controller でレイテンシーを設定する場合は、送信機器と受信機器で大きい(遅い)方の設定が有効になります。

V1.03

- 初期リリースバージョン(プレリリース版)

使用上のご注意

- MAINTENANCE 画面で Initialize All を実行すると、Dante がデイジーチェーンモードになります。
リダンダント接続環境では Dante ネットワークケーブルを取り外した後に Dante の設定を再度実施してください。

お知らせ

- Dante Controller でレイテンシーを設定する場合は、送信機器と受信機器で大きい(遅い)方の設定が有効になります。